

昭和肥料ニュース

FAX版



Vol. 025

全国で水稻の刈り取りがピークを迎える時期です。今年の作況は弊社独自の調べでは、今年作は夏の寡日照と多雨（地域によっては干ばつ）の為、早生種は平年並み、中生以降は収量・品質とも良くないとの状況のようです（1等米が少ない、粃数の割に粒が入っていないとの声が多い）。貴社販売地域ではいかがでしょうか？

大幅な米価下落時の土づくりをどうするか？

令和3年米の価格は大半の地域で一等米で2,000円～3,000円安と厳しい状況です。

新型コロナがコメ消費減少に拍車をかけ「2等以下の品質、主要品種以外の米品種の場合は、出口がない」と販売側の声もあります。

「安かろう、量で勝負」が仇となり、「文句のない品質を適正な価格（残念なことに平年よりは安いのですが）」の路線のほうが安定していると聞いております。

生産現場では低コスト栽培を余儀なくされて、飼料米へ舵を切る選択も当然ありますが『後遺症』に注意です！！。主食米への回帰時や転作時に地力不足や雑草の繁茂が発生します。

低コスト栽培区を一部に留め、何があっても良いように地力ある圃場づくりを行うほうが結局お得と思います。

資材販売店様向けの資料を提供いたします

賢く・無駄ない土づくりを継続（消費者が選ぶ作物品質を維持）していただくために、弊社では号外読み物を企画しました。

貴社の商品の画像を張り付ければ、顧客への販売ツールに使えます。

ご提供は、もちろん無料です！！是非お問い合わせください！

（近日中にデータにてご提供いたします。）

ご希望される場合、弊社又は商社の担当者へ直接ご依頼いただくか、下記の連絡先へご連絡、ご相談ください。

昭和肥料ニュース号外版（カラーA3判両面）問い合わせ先

TEL 0766-67-2700 FAX 0766-68-1227

ホームページアドレス <http://showa-f.co.jp>

（担当：岡田）